

Ⅱ 令和6年度環境創造局予算案の主なポイント

(1) 未来へつなぐ豊かな環境

多様な恵みをもたらす花・緑・農・水を生かすとともに、「公園のまち ヨコハマ」として、横浜の魅力をさらに高め、GREEN×EXPO 2027の成功や、自然共生による豊かな暮らしにつなげます。

- ・「ガーデンシティ横浜※」のリーディングプロジェクトである「ガーデンネットワーク横浜」による都心臨海部等の花と緑の取組を推進
- ・公園愛護会に略称ロゴ入りの活動支援物品を配布するなど、GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成を推進
- ・野毛山動物園のリニューアルを進め、子どもたちや観光客などターゲットに合わせた施設を充実
- ・受動喫煙の健康被害をなくし、子育てしやすい環境づくりのため、市内公園の受動喫煙対策を検討
- ・子どもの居場所としての魅力のさらなる向上に向け、こどもログハウスの長寿命化工事や空調設備工事などの機能強化等を推進
- ・生物多様性国際ユース会議の開催等を通じて、環境先進都市横浜を国内外へ発信するとともに、生物多様性の恵みを実感できるまちづくりを推進
- ・農的資源を生かした魅力的な農のあるまちづくりを目指し、特徴ある地区を設定し、人の交流やまちの活性化を図る農業振興策の策定を推進

※市民・企業等の様々な主体が連携し、横浜らしい花・緑・農・水のある豊かな自然環境を更に創出し、潤いや安らぎを感じられる横浜を次世代に引き継ぎ、魅力ある横浜へと発展させていく目指す都市の姿



山下公園



野毛山動物園
リニューアルロゴ

(2) 脱炭素化に向けた施策の推進

横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）に基づき、温室効果ガス排出削減対策を推進するなど、2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現に向けた施策に取り組みます。

- ・全庁一丸となったエネルギーマネジメント、使用する電力のより一層のグリーン化、下水道事業における温室効果ガス排出削減などを推進
- ・公共施設等への太陽光発電設備等の導入を推進
- ・EVバス等の導入補助や、民間事業者と連携した次世代自動車の普及促進



公共施設の太陽光発電設備

(3) 横浜みどりアップ計画の推進

市民生活の身近な場所にある樹林地や農地などの多様な緑を次世代に引き継ぐため、これまでの取組の成果などを踏まえ、「横浜みどり税」を財源の一部に活用した「横浜みどりアップ計画 [2024-2028]」を推進します。

- ・緑地保全制度で指定した民有樹林地の維持管理負担を軽減する支援を拡充
- ・市民が森に親しみ、楽しむことができる多様な活用を推進
- ・都心部から郊外部まで、農とふれあう機会の全市的な展開を推進
- ・地域が主体となった地域緑のまちづくりをはじめ、緑や花の取組を推進
- ・取組の内容や実績について、市民の皆様の理解を広げる広報を推進



寺家ふるさと村

(4) GREEN×EXPO 2027に向けた公園整備

GREEN×EXPO 2027に向け、会場の基盤ともなる（仮称）旧上瀬谷通信施設公園の整備を進めていきます。また、ネイチャー・ベースド・ソリューションなどのGREEN×EXPO 2027の理念や取組の継承、公民連携等、GREEN×EXPO 2027後の新しい公園を目指した検討を進めていきます。

(5) 活力ある都市農業の推進

農地が持つ多面的機能の発揮と都市農業の活性化に向け、関連する多様な主体と連携して、持続できる都市農業の推進、市民と農との関わりを深める取組を進めます。

- ・生産基盤の整備や、ICTを活用したスマート農業技術導入等を支援
- ・北部下水道センター内の農業用ハウスにおいて、スマート農業機器を活用した農産物の栽培管理等を実施
- ・子どもたちが農体験を行う「環境学習農園」など様々な農園の開設を支援
- ・旧上瀬谷通信施設地区において、企業・大学等との連携やICT等の活用による高収益化を目指した試験栽培等を実施



旧上瀬谷通信施設地区におけるイチゴの試験栽培の様子

(6) 良好な生活環境の保全

市民生活や事業活動の基盤となる良好な生活環境を守るため、環境法令等に基づき、大気・水環境の常時監視や調査、事業所への立入調査や指導、市民から寄せられる相談等への対応を適正に実施します。

また、環境保全協定の運用など、事業者との対話による環境保全対策を推進するとともに、届出・窓口相談におけるデジタル技術の活用や環境情報の着実な発信を進めます。

さらに、大気汚染や水質汚濁に係る広域的課題に対し、九都県市等他自治体と連携して取り組みます。

(7) 安全・安心な市民生活の実現

気候変動の影響による集中豪雨への対応のため、流域全体の関係者が一体となって取り組む「流域治水」の推進や、今後想定される地震への対策などにより災害に強い都市づくりを進めます。

ア 浸水対策

- ・市域全域で、過去に浸水被害を受けた地区などにおいて雨水幹線や雨水調整池などの整備を推進
- ・横浜駅周辺地区で、目標整備水準を引き上げた下水道整備を推進
- ・気候変動の影響による大雨に対応した浸水対策を推進
- ・多様な主体と連携したグリーンインフラの活用

イ 地震対策

- ・地域防災拠点の流末下水道管や水再生センター等の耐震化の推進

ウ かけ地対策

- ・即時避難指示対象区域に含まれる公園内のかけ地等で安全対策を推進



令和3年道路冠水状況

(8) 暮らしを支える公園・下水道

市民生活の安全や横浜の経済活動を支える公園・下水道について、計画的な維持管理に取り組みます。

ア 公園の保全・更新 ～地域で長く愛される公園を目指して～

公園に期待される様々な役割を高め、地域で長く愛される公園となるよう、維持管理や整備に取り組みます。

- ・遊具等の施設点検や維持補修を実施し、施設の長寿命化を推進
- ・老朽化した公園施設の計画的な再整備と施設改良を実施



遊具等の施設点検

イ 下水道の保全・更新 ～安全・安心な下水道サービスの継続的な提供を目指して～

安全・安心な下水道サービスを継続的に提供するため、民間事業者のノウハウや創意工夫を活用しながら効率的な維持管理・老朽化対策を進めます。

- ・状態監視を基本とした予防保全型の維持管理・再整備の着実な推進
- ・包括的民間委託やPFI方式を導入した管理運営を引き続き実施
- ・今後増大する下水道施設の再整備・再構築を着実に推進するため、多様な主体との連携や、民間の技術を生かした発注方式等の推進



北部汚泥資源化センター
汚泥焼却炉施設(PFI事業)